

企画書

復興庁被災者支援コーディネーター事業

みやぎまちづくり自慢大会 2019-2020 令和元年の陣 ～地域まちづくり組織交流会～

作成日付 2019.11.18

作成：沖澤

1. 背景

東日本大震災より8年が経ち、復興期間もまもなく終わりを迎えようとしている現在だが、宮城県内の被災沿岸部では、高台移転や内陸部への防災集団移転により地域コミュニティの再編がなされている最中である。これらの地域の再編や、復興を契機とした地域づくりは自治会単位で始まっているが、担い手不足や高齢化などにより、自治会や行政区単独で活動を継続していくのは難しい側面もある。そんな中、自治会を横断するような形で地域を広域でまとめ、住民主体の地域課題解決や活性化の役割を担っているのが「まちづくり協議会（住民自治組織）」であり、宮城県内でもまちづくり協議会やその機能をもつ団体が立ち上がり活動し始めている。

宮城県内の住民自治組織の中には、地域の「事務局」として自分たちの役割を理解し、他機関とのコミュニケーションの窓口として機能を果たす組織や、地域課題を逆手に取り、住民一体となった解決を後押しする組織なども存在し、組織が立ち上がって間もない団体や他地区にとっても有効な情報になると考えられる。また、震災伝承の施設等拠点のオープンに伴い地域を発信する動きや、全住民アンケートの実施等、地域住民の声を聞いて実態把握をするという動きも多くみられる状況である。

2. 目的

宮城県内の地域まちづくり組織の情報共有・交流の場づくりを今年度も継続して行う。普段気づきにくい自地区の強みや特性を再認識し、今後の実践に活かすことを目的として実施する。

3. コンセプト

地域まちづくり組織の担い手同士の意見交換を実施する。初回（昨年度）は、県域での輪を広げることが主な目的だったが、今回はターゲットにする層を決めたり、ジャンルやテーマを掘り下げるなどして、よりお互いを深められるような工夫をする。

4. 対象

宮城県内の地域まちづくり組織（会員・事務局）、住民自治組織、自治会、NPO、行政 等

5. 実施体制

企画運営：（一社）みやぎ連携復興センター

担当：沖澤・佐藤

6. 実施内容

(開催地域) 未定

(定員) 60～70 名程度

(プログラム案)

開会
・おらほのまちづくり自慢
質疑応答
・ワールドカフェ
閉会

【登壇団体・テーマ (案)】

- ・野蒜まちづくり協議会 (東松島市)
→まち協の組織基盤強化について
- ・(一社) 鮎川まちづくり協会 (石巻市)
→拠点活用・魅力発信
- ・岩出山地域づくり委員会 (大崎市)
→住民アンケートを活かした地域づくり
- ・閑上地区まちづくり協議会 (名取市)
→合意形成・今後の閑上のまちづくり
(復興省察研究会/TOTO のまとめのことについて話してもらおう?)
- ・(一社) 筆甫地区振興連絡協議会 (丸森町)
→住民主体の防災活動 (台風 19 号被害対応)

7. 日 程

(案)

10 月下旬～12 月上旬 : 企画決定

12 月下旬～1 月下旬 : 広報

2 月下旬 : 実施

8. 予 算

復興庁被災者支援コーディネート事業より支払い予定。